

自己点検・評価項目

令和 5 年 3 月 31 日 実施

ルネッサンス ジャパニーズ ランゲージスクール

日本語教育機関のための自己点検・評価項目について

この点検・評価項目は、ルネッサンスジャパニーズランゲージスクールが自己点検・評価を行うに際し設定する項目として作成したものである。これらは「基準」対象外のコースについても適用することができる。

「日本語教育機関の告示基準」に基づいて、大項目を10設定し、それらに関する小項目を設定している。点検に際しては、まず小項目を点検・評価し、そして大項目で達成状況、課題、改善計画等を記述する。最後に総括として大項目をまとめる。

点検・評価に当たっては、校長、教務主任及び事務長による態勢を組んで、点検・評価を実施または互いに検討して最終評価を行う。その評価を上記三者から設置代表者と経営担当役員に報告し、承認を得て公表とする。

点検・評価は、毎年1回、3月に実施することとする。

この点検・評価の結果は毎年ホームページにて公表することとする。

実施後の評価がDの場合は改善を協議し、改善に努める。

項目の評価は、以下の分類とし、[]に記号を記入する。

- A : 達成されている。
- B : ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
- C : 達成に向けて努力している。
- D : 達成されていない／必要性に気づいていなかった。

自己点検・評価項目

1 教育理念と教育目標

<教育理念>

- ①学生自らの学ぶ意欲を尊重し、ひとりひとりの能力を最大限に伸ばし、創造性豊かな人材になるように教育する。
- ②日本の田舎で生活し学ぶことにより日本の考え方や日本文化の良い面を学ぶ。

<教育目標>

母国と日本の架け橋となる人物を育成。
言語習得とともに異文化、社会の理解を深めて、日本と母国で活躍できる自立した人材の育成を目指します。

- [A] 1-1 教育理念と教育目標が教職員、学生に周知されている。
- [A] 1-2 教育理念と教育目標が社会に地域のニーズに合っているか。

教育理念と教育目標について

2 機関運営

- [A] 2-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。
- [A] 2-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。
- [A] 2-3 意志決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。
- [B] 2-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。
- [A] 2-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。
- [A] 2-6 事業規模に応じた組織態勢になっている。
- [A] 2-7 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されている。
- [A] 2-8 生活指導責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されている。
- [A] 2-9 生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。
- [A] 2-10 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。
- [B] 2-11 外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがある。
- [B] 2-12 内部からの情報発信が効率的に行われている。
- [A] 2-13 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。
- [C] 2-14 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。
- [B] 2-15 教員及び職員の評価を適切に行っている。

機関運営について

3 教育活動

- [A] 3-1 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。
- [A] 3-2 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- [A] 3-3 カリキュラムは、体系的に編成されている。
- [A] 3-4 教育目標に合致した教材が選定されている。
- [A] 3-5 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。
- [A] 3-6 教員配置が適切になされている。
- [A] 3-7 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- [A] 3-8 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。
- [A] 3-9 理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。
- [B] 3-10 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。
- [A] 3-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。

- る。
- [A] 3-12 判定基準及び判定方法が明確に定められている。
- [A] 3-13 成績判定結果を的確に学生に伝えている。
- [A] 3-14 授業評価を定期的の実施している。
- [A] 3-15 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。
- [C] 3-16 学生による授業評価を定期的の実施しているか。またそれを基に改善を行っているか。

教育活動について

4 学修成果

- [-] 4-1 卒業判定が適切に行われている。
- [A] 4-2 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。
- [B] 4-3 生徒の日本語能力が到達目標に達しているか。
- [-] 4-4 卒業生の状況を把握するための取組を行っている。
- [-] 4-5 卒業後の進路を把握している。
- [-] 4-6 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している。

学修成果について

- ・2022年4月に開校し、現時点ではまだ卒業生がいないため該当なし。

5 学生支援

- [A] 5-1 学生の支援態勢が整備されている。
- [A] 5-2 入学直後のオリエンテーションを実施している。
- [A] 5-3 生活指導を定期的の実施している。
- [A] 5-4 地域交流や地域活動を実施している。
- [A] 5-5 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。
- [A] 5-6 定期的に健康診断を実施している。
- [A] 5-7 学生全体の生活状況について定期的に調査している。
- [A] 5-8 進路指導担当者が特定されている。
- [A] 5-9 学生の希望する進路を把握している。
- [A] 5-10 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。
- [A] 5-11 担当者は、入管に関する手続きなどの研修受講等により適切な情報取得を継続的に
行っている。
- [A] 5-12 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。
- [A] 5-13 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。
- [A] 5-14 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。
- [A] 5-15 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に
行っている。
- [A] 5-16 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。
- [A] 5-17 感染症発生時の措置を定めている。
- [A] 5-18 危機管理態勢が整備されている。
- [B] 5-19 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている。
- [C] 5-20 災害等に対する避難訓練を定期的の実施している。

学生支援について

6 教育環境

- [A] 6-1 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。
- [A] 6-2 教室及び校舎内は季節に応じた温度設定ができる環境が整っている。
- [A] 6-3 教室内は、十分な照度があり、換気がなされている。
- [A] 6-4 すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。
- [A] 6-5 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。
- [A] 6-6 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている。
- [A] 6-7 授業で使用する教科書や副教材等が整備されている。
- [A] 6-8 教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されている。
- [A] 6-9 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレが設置されている。
- [A] 6-10 法令上必要な設備等が備えられている。
- [A] 6-11 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。

教育環境について

7 学生の募集

- [A] 7-1 教育理念と教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。
- [A] 7-2 募集定員を定めている。
- [A] 7-3 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。
- [A] 7-4 教育内容、教育成果を含む最新で正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。
- [A] 7-5 求める学生像を明示している。
- [A] 7-6 応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している。
- [A] 7-7 募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。
- [A] 7-8 海外の募集代理人（エージェント等）に最新で正確な情報提供を行っている。
- [A] 7-9 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。
- [A] 7-10 入学選考基準及び方法が明確化されている。
- [A] 7-11 学生情報を正確に把握し、提出書類や面談により確認を行っている。
- [A] 7-12 入学選考を行う態勢が整備されている。
- [A] 7-13 受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。
- [A] 7-14 入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されている。
- [A] 7-15 学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。

学生募集について

8 財務

- [A] 8-1 財務状況は、中長期的に安定している。
- [A] 8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。
- [B] 8-3 適正な会計監査が実施されている。
- [A] 8-4 財務情報の公開ができています。

財務について

9 法令遵守

- [A] 9-1 法令遵守に関する担当者を特定している。
- [A] 9-2 関係法令を遵守して、適切な運営を行っている。
- [B] 9-3 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。
- [B] 9-4 個人情報の取り扱いについての取組を行っている。
- [A] 9-5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。
- [A] 9-6 入国管理局、日振協、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。
- [B] 9-7 自己点検を実施し、必要に応じて改善を行っている。
- [C] 9-8 自己点検を適切に公開している。

法令の遵守等について

10 地域貢献・社会貢献

- [B] 10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。
- [D] 10-2 学生ボランティア活動への支援を行っている。
- [D] 10-3 公開講座等の実施に取り組んでいる。

地域貢献・社会貢献について

自己点検・評価

日本語教育機関名 : ルネッサンス ジャパニーズ ランゲージスクール

点検・評価実施日 : 2023年3月31日

実施責任者 : 地主 恭子 (校長)

実施担当者名(役職) : 川畑 智子 (教務主任)